

旭化成グリーン・ボンド 年次レポート（2020年度）

当社は2020年6月に水力発電所改修工事費用を用途とするグリーンボンドを発行し、調達資金の充当状況および環境改善効果を年次で公表することとしております。

2020年度（2020年6月～2021年3月）の状況は以下の通りです。

1.対象事業について

当社は現在、大正時代に建設した水力発電所による電気を当社延岡地区の工場群へ送電し、事業活動に活用しています。今回の水力発電設備改修工事は、老朽化および耐震性の点から、寿命が到来しつつある水力発電設備を更新し、あわせて高効率化することにより、今後数十年から百年に亘る、再生可能エネルギーの更なる利用を実現するものです。

旭化成グリーンボンドは、当社が所有する五ヶ瀬川発電所および馬見原発電所、二カ所の水力発電所^{*}の改修工事費用を対象としています。なお、五ヶ瀬川発電所については、コロナ禍の影響により工事遅延が発生し、完工予定が2021年10月から2022年1月となっています。馬見原発電所は完工予定に遅延はありません。

^{*}旭化成延岡地区における水力発電所改修について

事業カテゴリー	適格事業	プロジェクト	発電所形式	最大出力	完工予定
再生可能エネルギー	水力発電設備	五ヶ瀬川発電所	流れ込み式	14.5MW	2022年1月
		馬見原発電所		5MW	2022年10月

2.資金充当状況と環境改善効果

2.1資金充当状況（2021年3月末時点）

2020年度では、調達資金のうち7億円を充当しました。残りの調達資金については、2022年度末までに充当を完了する予定です。

	調達金額（億円）	充当金額（億円）	未充当額（億円）	充当完了時期
五ヶ瀬川発電所	100	5	92	2022年度末
馬見原発電所		2		

2.2環境改善効果

2020年度においては、資金用途プロジェクト2件は未稼働です。稼働後は以下のCO2削減効果と水力発電容量を見込んでおります。

	改修後水力発電設備 発電容量（MW）	*CO2排出削減量 （ton-CO2e）	水力発電総容量 （MW）
五ヶ瀬川発電所	14.5MW	3.1万ton	57.4MW
馬見原発電所	5MW	0.8万ton	

*CO2削減効果=年間発電量(kWh)×CO2排出係数(kg-CO2/kWh)

CO2排出係数：九州電力のCO2排出係数（2019年度実績）

なお、本レポート実施にあたっては、Sustainalyticsよりレビューを受けています。

日本語
英語